

講義コード	11C0382401	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	吉川 洋	開講期	通年
科目名	経済政策								
履修前提条件					備考				
授業の目的	私たちの暮らす日本経済は「市場経済」を基本としているが、政府が行う経済政策も重要な役割を果たしている。日々のニュースでもさまざまな経済政策が大きく報道されている。この講義では、そもそもなぜ「経済政策」が必要であるのかを学んだ後に、ミクロ経済学、マクロ経済学の初歩的な知識を使いながら、税・補助金・規制改革などミクロの経済政策、財政・金融政策を中心とするマクロの経済政策につき学ぶ。								
到達目標	日本経済で現在、何が問題なのか、問題を解決するためにどのような経済政策が求められているのかを知り、新聞の経済記事やニュースの内容を十分に理解できる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	参考書や文献を読み、各回の授業内容を予習・復習する。 授業外に計120時間以上の学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション——「効率性」と「公平性」		【第16回】 景気循環（その1）		【第17回】 景気循環（その2）		【第18回】 景気の安定化		
	【第2回】 市場経済の役割——「見えざる手」（その1）		【第19回】 財政政策の役割（その1）		【第20回】 財政政策の役割（その2）		【第21回】 金融政策の役割（その1）		
	【第3回】 市場経済の役割——「見えざる手」（その2）		【第22回】 金融政策の役割（その2）		【第23回】 インフレとデフレ（その1）		【第24回】 インフレとデフレ（その2）		
	【第4回】 「市場の失敗」と税・補助金（その1）		【第25回】 産業政策		【第26回】 農業政策		【第27回】 成長政策		
	【第5回】 「市場の失敗」と税・補助金（その2）		【第28回】 雇用——失業、非正規（その1）		【第29回】 環境・地球温暖化と経済政策		【第30回】 日本経済の現状と課題（その1）		
	【第6回】 所得の不等——ピケティの衝撃（その1）		【第29回】 日本経済の現状と課題（その2）		【第30回】 日本経済の現状と課題（その2）				
	【第7回】 所得の不等——ピケティの衝撃（その2）								
	【第8回】 高齢化社会と格差								
	【第9回】 社会保障（その1）								
	【第10回】 社会保障（その2）								
	【第11回】 財政赤字の拡大（その1）								
	【第12回】 財政赤字の拡大（その2）								
	【第13回】 雇用——失業、非正規（その1）								
	【第14回】 雇用——失業、非正規（その2）								
	【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	中間試験（50％）と学期末試験（50％）で評価する。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書	『ミクロ経済学 Expressway』 八田達夫（東洋経済新報社）2013.4、『マクロ経済学 第4版』 吉川洋（岩波書店）2017.3								
教員からのお知らせ	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を履修していることが望ましい。 特定の教科書は用いないが、適宜、参考書や授業で紹介する文献を読むこと。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。								
その他									